

東洋工業會議の感想

(昭和 10 年 11 月 28 日 学士會館に於て)

Impression of the Oriental Engineering Congress.

要 旨

本講演は先般の東洋工業會議に出席せられた松永 工、宮本武之輔、加賀山 學、山田隆二諸氏(本會代表)の感想を聴く會に於て述べられたものである。

尙本講演會に於て商工省工務局囑託吉田永助氏が度量衡の標準規格統一に關して講演せられたから之と同時に登載した。

會員 工学士 松 永 工*

今回の東洋工業會議は、私共のやつて居ります社團法人工政會の主催でございますので、私はたゞ事務的に、つまり抱持に隨行を致したに過ぎないのでありますから、感想談は外の方にお願ひすることに致しまして、私は東洋工業會議の起りと結末、其の將來に就て申し上げることに致したいと思ひます。

初に此の會議はどうして起つたかといふことを申し上げて置きたいと思ひます。滿洲事變の前後に於きまして、政治上、軍事上に於ける支那の大勢は、殆ど如何ともすることが出来ないやうな状態になつて居りました。さういふ状態の間にも、支那の独自の國防、独自の産業開發、独自の工業工作といふものは、1 日も待つて居られないのであります。支那は國防のために飛行機を某國より買入れて居ります。某國より借款を致しまして、鐵道を延長して居ります。又某國より鐵道の機關車を買ひ、レールを買ふといふやうな状態で進んで居つたのであります。

言ふまでもなく東洋の平和は、支那と日本が手を握らなければ望まれない。支那と日本が、東洋の一角に於て手を握るに非ずんば、白色人種に拮抗することは出来ない。故に東洋の平和は即ち世界の平和である、此の點に於て支那と日本は、どうしても固く手を握る必要があるのであります。然るに其の當時の支那の状態は、幾年待つたら日本と手を握り得るかわからないやうな状態でありました。たゞさういふ状態の下に於ても、軍事及び政治の問題を除いて握手し得るものがある、文藝然りであります。藝術然りであります。踊も宜しい。音楽も宜しい。かう言ふ方面ならば政治家が如何に争つて居りまして、お互に手を握ることが出来るのであります。

然らば吾々工業技術者はどうであるか、工業技術の上に於ては、政治、軍事の問題が紛糾して居る間にも自由に接することが出来るのであるから、此の方面から所謂國民外交を進めやうといふ議が工政會内に起りまして、物故せられました斯波男爵、今泉嘉一郎博士、加茂博士、只今の理事長の井上子爵、理研の大河内正敏子爵、此の 5 名の方が颯起されまして、混沌たる時代に於て、如何にして之を纏めるかといふことに非常に苦心されたのであります。

丁度 1 昨年暮から昨年春にかけて、滿洲事變直後の非常に状態の悪い時に發起致しました爲に、工政會は之を纏めることに非常に困難を致しまして、一年有半の間之に没頭したのであります。そこで私共は人を支那に派遣して探りを入れました。當時有吉大使が不在でありましたために、堀内一等書記官が専ら之に當りました。支

* 工政會常務理事

那側では外交部次長の唐有仁氏が之に共鳴して、いろいろ盡力されたのであります。

そこで本年6月3日に、上海に於ける録々たる技術者約40名が上海に集まりまして、今日日本と支那が、政治上軍事上に於て紛糾を續けて居る間に、お互技術者が技術上の相談をすることは如何なるものであるかといふことを協議致しました結果、40名の技術者、工業家は皆之に賛成を致しまして、日本と支那の技術者がさういふ會議をすることは急務であるといふ申合を致しました。其の申合の結果を、有吉大使より外務大臣に宛て、公式の報告がありました。外務大臣は其の報告に基きまして、現状に於て東洋工業會議を開く可能性があるといふことを、公文を以て工政會に通達せられましたので、茲に始めて本格的に此の會議を進むべく決心を致した譯であります。

ところが日本に於ては工政會といふ本体がありますが、残念ながら支那には工政會に當るべき主体が無いのであります。機械學會とか、何々學會とか、部分的、専門的の會合はありますけれども、其のセンターといふものが日本の工政會に當るべき力が無い、假りに力があるにしても其の當時の状態は、小集會或は私的會合に於ては賛成といふ聲を出しましても、いざといふ場合には、誰も主体になる事を憚るといふ状態でありました。つまり反日氣分、抗日氣分が非常に盛でありましたために、公然と名乗り得ないのであります。従て外務省では東洋工業會議開催の可能性ありと稱して居りまして、判然と其の姿をつかむことが出来なかつたのであります。

愈々先月の22日出發をせやうといふ其の前日に、私は外務省に呼ばれまして、君等は折角意氣込んで居るけれども、支那の現状は君等の望むが如き形に於ては、工業會議を開催することは出来ないやうな情勢であるから、暫く延期されて、完全なる姿を見てから出掛けてはどうかといふ御注意を受けたのであります。私共は一年有半の間ずつと偵察に過しまして、計畫を変更したことが3回であります。併し10月22日出發といふことは、既に十分用意をした上のものでありますし、船の約束も致しましたし、先方との聯絡もついて居るのでありますし、之を延期するといふことは、少くとも本年内には決行が出来ないやうな事情に立至つて居りますから、先方が如何なる状態でありましても、私共は出發しますといふ決心を外務大臣に話しました處、それなら其の旨を先方に通じやうと言はれましたので、成るべく此の會議が出来るやうに、國民政府に援助して貰ひたいといふ電報を出して貰つたのであります。

其のために外交部次長の唐有仁氏は、あらゆる方法を以て、緩和して呉れました。當時支那の情勢は、例へば教育部の一抗日官吏は、甚しきデマを各大学に飛ばしました。實は今度の東洋工業會議は、日支滿の工業聯盟といふ名稱で計畫したのであります。然るに日支滿の工業聯盟といふことは、支那が又或種の聯盟に引入れられたといふ疑惑を、歐米諸國の間に蒙る虞がある故に、成るべく學術的の名稱にした方が宜しからうといふ其の筋の御注意がありましたので、東洋工業會議といふ純學術的の名稱に変更致したのであります。先頃のオリムピックの會議も滿洲が入つたために不成功に終つたのでありますから、成べく滿洲といふことを除かう、そして歐米の疑惑を除かうといふので、支那に對する公文は總て滿洲を取り、日程表も北平以後の分を除いて往復して居つたのであります。

ところが日本の新聞紙では、滿洲にも行くものであるといふことを通信して居りましたために、抗日の一官吏は、東洋工業會議は學術的の美名の下に隠れて、實は滿洲承認の下準備をするものである。斯の如き會議は歓迎すべからずといふやうなデマを各大学に飛ばしたのであります。さういふ事態が外務省をして悲觀せしめたのであります。外務大臣から唐有仁氏に宛て、激勵的の電報を發しましたので、唐有仁氏は新聞記者を招いて警告を發し、又各大学に對して、今度の會議は決して世間の謂ふが如き不眞面目なものではない。政治的の意味は少

しもない。純學術的の會議である。斯の如き學術的の會議を支那に開いて成功せしめないといふことは、中華民國の恥辱になるから、諸君は努力しなければならぬといふ訓示をして、此の會議のために盡力をして呉れたのであります。そこで私共は、あらゆる困難を排して進む決心を以て、上海上陸以來非常な努力を致しましたので、豫想以上の効果を擧げたのであります。此の會議が効果を擧げたことに就ては、後刻 3 名の方からお話があることと存じますが、たゞ上海に於ては、政治問題のために公式に東洋工業會議としては開くことが出来なかつたので、吳上海市長が工政會のエキスパートを歓迎する單なる歓迎會である。故に其の歓迎會に於て、君等が望む所の講演なり、或は活動の映寫會なり或は部分的の會議なりを、歓迎會の間にやつて貰ひたい、さうして翌日は、工政會の理事長より同じメンバーを招待して貰ふ。其の 2 日間に於て、東洋工業會議の求むるが如き形の會議をやつて貰ひたいといふことでありましたから、實際にはやつたのであります。東洋工業會議といふ形では出来なかつたのであります。

南京政府訪問の時、それから天津、北平に於ては非常な好成績を擧げたのであります。南京に於ては、先般負傷された汪兆銘氏の如きは、非常に長い時間の演説をして呉れました。其の演説も、お座なりの演説でなく、相當専門的の演説でありました。例へば支那は重工業が未だ發達しない。未だ輕工業時代である。假りに支那が日本に誘導されて、他日重工業が發達するものと假定すれば、日本としては支那が其處迄に重工業に於て發達する爲に、却つて困ることがある。日本は斯の如く支那を誘導した結果として、自分のライバルを作るのであるさういふ事が出来るかといふ批評があるけれども、それは當らない。又今日輕工業の時代にある支那の遅れた工業が、他日重工業時代になつたとしても、日本と支那との工業上の間隔は永久に続いて行くのである、さういふ批評があつても何等恐るゝに足りない。故に日本は何處までも支那を誘導し、支那は日本と提携して、工業の進歩發達を図らうぢやないかといふ意味の演説でありました。陳實業部長、朱交通部長の演説もお座なりの演説ではなくして、徹に入り、細に涉つて居るのであります。是は豫め關係者より調書を提出せしめて相當用意しなければ出来ないやうな眞面目な演説でありました。斯の如く吾々の希望以上に、國民政府の款待を受けたのであります。北平、天津に於ても、非常な眞面目さを以て受容れられまして、吾々の希望した組織的の専門部會を開くことが出来たのであります。是は吾々の豫想しなかつた所でありまして、それだけ工業的欲求があるといふことを知り得た次第であります。

滿洲に於ては専ら滿洲技術協會、即ち貝瀨會長の盡力で非常に順調に進みました。殊に新京に於ては、新しい技術者の集合された土地でありましたために、東洋工業會議を非常な期待を以て待受けられまして、専門部會的の質問応答も行はれ、専門的講演者も 2 時間に 17 人もしなければならぬといふやうな状態で、時間が足りないで非常に忙しさを以て終了したやうな次第であります。斯様な状態で、支那に於ても滿洲に於ても、豫想以上の收穫を得たのであります。次に今後東洋工業會議を如何にするかといふ問題であります。申すまでもなく此の會議は、たゞ 1 回の會議を以て完了し、1 回の會議を以て効果を得ることは出来ないであります。今回の第 1 回の會議は、支那の學者技術者はどういふ團體を組織して居るか、優秀なる技術者はどういふ組織に依つて、どういふ現状にあるかといふことを知るために、又日本の各部門の専門家は斯ういふ人間であるといふ一つの顔合せであつたのであります。先刻申し上げました通り、吾々は如何なる團體を相手として將來東洋工業會議を継続して行くべきか、想像がつかなかつたのであります。今回の會議に依りまして、如何なる人物が如何なる方面にあつてどういふ風になつて居るかといふことが、大体見當がついたのであります。そこで今後は政府の力を俟たなければならぬと思ふのであります。今回の東洋工業會議の支出は、丁度上海事變當時でありました爲に、政府

の力を藉りることを避けたのであります。政府の隠れたる形に依つて作られた東洋工業會議であるといふ疑念を避けたのであります。政府の廻し者であるといふことを疑はしめることを避けたのであります。故に其の費用も政府の補助を得ずして、専ら民間の出資に依つて此の會議を開きたいと存じて居つたのであります。然るに其の後日支の關係がだんだん好転致しまして、左程政府の援助を避ける必要なきまでに至つたのであります。ところが其の當時に於ては、政府の補助を得んとしても、官廳の豫算は御承知の通り、1箇月や2箇月前では出来ないのでありますから、已むを得ず最初の計畫通り民間の出資を仰ぎました。ただ官廳の方からは、大藏、司法、拓務の3省を除く各省から著名なる技術官を1名乃至2名公式の御出張を願つたのであります。是は一種の補助であります。將來は政府で仕事をして行くべき性質のものではないかと存じますので、兎に角しつかりした資金を作つて、此會議を永続的に繰返して行かなければ成功は覺束ないと思ひます。

然らば相手にはどうして貰ふかといふと、今回の會議で相當の中心人物を見出し得たのでありますから、是等の人物と相結んで、天津、北平その他に於て適當なる工業團體の組織或は委員會或は工學會類似のものを作つて貰つて、屢々此の會を繼續して参りますならば、現在の如き政治問題、軍事問題が如何に展開し、如何に変更して行きましても、所謂工業には國境なしでありまして、やはり飛行機が動いて居り、紡績工場の機械が動いて居る間は、如何に戦争がありましても、政治上の問題が複雑して参りましても、工業の相談、工業の提携といふことは必ずやつて行けるのでありますから、資源國たる支那と、製造工業國たる日本が有無相通じて提携をして行きましましたならば、將來白色人種との争ひに打勝つことが出来るのではないかと思ふのであります。是等の點に就ても、今度の會議の間に多少話を致しましたが、まだ日本のやうに纏つて居りませんので、これだけの學會なり委員會なりを作るまでには進んで居りませんが、吾々の見る所に依りますと、大小は兎に角、多少委員會らしきもの、學會らしきものが作られるのではないかと思ひます。日本と支那との工業的提携は必ず東洋平和の基礎となるべきものと信ずるのでありますから、兎に角將來も何等かの形を以て、政府の同意を得て進みたいと考へて居る次第であります。感想などは後の3君に譲りまして、東洋工業會議の成立と、將來に對する希望を述べまして、前座の役を終ることに致します。

日華親善と技術的提携

會員 工学博士 宮本武之輔*

東洋工業會議の趣旨其の他に就ては唯今松永さんから詳細のお話がありました。私は代表の1人として一行に加はりまして、上海を振出しに、南京、青島、天津、北平、大連、新京、それから一行と別れまして、哈爾濱、羅津を廻りましたので、其の忙しい旅行の間の感想を少しお話致したいと思ひます。實は甚だ多忙でありまして、まだお話を申上げる程度に感想を纏めることが出来ませんので、甚だお聴き苦しいことと思ひますが、旅行の間に感じました事を、斷片적으로お話して見たいと思ふのであります。

第一に東洋工業會議の趣旨から申しまして、所謂日華親善といふことが果して出来るか、どうか、更に遡つて、何故さういふ必要があるかといふことは、吾々の考へて見なければならぬ根本的な問題であると思ひます。現在の國際情勢から見まして、東洋の平和を保つために、日本と中華民國とが提携しなければならぬことは、議論の

* 内務技師 内務省土木局第一技術課勤務

餘地がない所であると思ふのであります。其の點に就て私の愚見を申述べることは省略致しますが、それでは日華兩國の親善のためには、どういふ方策が必要であるか、どういふ方策が行はれ得るかといふ問題になりますと、外交的の提携とか、經濟的の提携とか、技術的の提携とか、いろいろの方策を以て立て得ると思ひます。

併しながら先程松永さんからお話がありましたやうに、學術に國境なしといふ言葉もありますが、日華兩國の間に眞の政治的提携、若くは外交的の提携が行はれません場合には、即ち紛糾した政治状態、外交状態の下に於ては満足なる平和的提携は恐らく無理ではないかと思はれるのであります。政治的、外交的に紛糾を重ねて居る場合に、學術に國境なしといふ看板の下に、學術人が果して快く手を握り得るか、どうかは疑問であると思ひます。

従て東洋工業會議の趣旨である所の經濟的提携、民族的提携の力を推し擴めて、外交上、政治上の紛糾をも、其の提携の力に依つて、所謂國民外交の力に依つて平和的に解決して行くといふ理想と熱意がなければならぬと思ふのであります。それでは日本と中華民國が、果して提携し得るかといふ問題になりますと、私共は支那の國民性といふものを十分理解しなければならない。中華民國人も亦日本人といふものを正當に理解することが必要である。是が先決問題であると思ひます。そこで今度の短い旅行の間に於て、支那の政府並に支那の國民性に就て、私の感じました所を断片的にお話しようと思ひます。

御承知の如く現在の支那の政府は、國民黨といふものが政權を握つて居つて、國民政府を組織して居るのであります。國民黨といふのは決して日本の政黨のやうなものではない、ドイツのナチス、イタリーのファシズムのやうに一國一黨の大きな團體であります。其の國民黨が今日支那の政權を握つて、國民政府を組織して居る。政府は立法院、司法院、行政院、監察院、考試院（是は支那獨特のもので、官吏登用の事項を司る）此の5院から成つて居ります。行政院といふのが滿洲國の國務院に相當する政府であつて、行政院長は此の間遭難した汪兆銘であります。其の行政院の下に外交部、内政部、教育部、交通部、鉄道部、實業部、軍政部、海軍部の8つの部があります。其の中で私共が直接訪問致しましたり、部長なり、次長なり、局長なりに面會致したのは、部長では外交部長、是は汪兆銘が兼任をして居りました。實業部長陳公博、交通部長朱家驊の3人です。さういふ人々が南京に於て吾々の一行を欵待して呉れたのであります。そして是等の部長、つまり大臣であります。部長なり、次長なりは、何れも非常に若い連中であるといふことは、第一に私の注意を惹きました。

汪兆銘は53ださうですが、非常に若く見える。次長の唐有仁は40であります。其の外の部長も何れも40代で、非常に若い。40代の人が國民政府の要路に立つて居つて、丁度日本の明治維新當時と同じやうな状態であります。此の「青年支那」が成長致しましたならば、恐るべき力になるのではないかと、私は「青年支那」といふ感じを第一に抱いたのであります。

尚ほ5院の外に軍事委員會といふものがあつて、其の委員長が蔣介石なのであります。もう一つ國民經濟委員會といふものがありまして、其の委員長が前の財政部長の宋子文であります。國民經濟委員會は主として全國の道路、水利等の事業を掌つて居る所です。

是等の若い支那の政治家が、どういふ風な事を考へるか、又日華親善といふことに就て、どういふ風な考を持つて居るか、さういふ問題は非常にむづかしい問題であります。又非常に重大なる問題であります。上海で會

を開きました時に、日本の外務大臣、商工大臣から祝辭があり、それと同時に、國民政府の外交部長汪兆銘、實業部長陳公博の祝辭がありました。陳部長の祝辭の一節に斯ういふ文句がありました。日本の所謂漢文流に讀んで見ますと、“凡そ一國家は建設の自由を有して始めて其の他の國家と經濟的協調の機會がある、此の事は是非

膽に銘じて考へて頂きたい”といふのであります。

即ち一つの國家は、自分の國家を建設する自由を保留して、始めて其の他の國家と對等に協調する機會があるといふので、是は婉曲に申したことであるけれども、其の眞意は支那の主權を尊重するといふことでなければ、日華兩國の間に經濟的協調を結び得ないといふ意味であらうと考へまして、興味深く感じたのであります。又南京政府における汪兆銘の挨拶の中に、“日本と中華民國とは、經濟的基礎を共通にして居る”といふ文句がありました。一例が日本は工業國としては重工業の域に發達してゐる。中華民國の資源と購買力とは日本の重工業に必要であり、又中華民國の輕工業は日本の指導を必要とする。兩々相俟ち相扶けて共存共榮の國家を建設して行くことが出来る。自分は決して一部の人の言ふが如く日華兩國が利害相反すると言ふ風には考へないと言ふのであります。

さういふ風な挨拶を通じて見ますと、兩國の親善に對して、國民政府の要路の人がどういふ事を考へて居るか、聽氣ながら諒解することが出来るのではないかと思ひます。上海に於ける吳鉄城市長の挨拶の中にも、汪兆銘の挨拶の中にも、日華の親善、日華の提携といふことは、互に信頼し、互に尊敬するといふことでなければならぬ。之を基礎にしなければならぬといふことを繰返して申して居りました。それは非常に意味のある言葉ではないかと思ふのであります。

然しながら中華民國の國民性といふものは、果して日本人を律するのと同じ心持で、胸襟を披いて之と相提携することが出来るか、どうかそこに疑問がある。よく中華民國の國民性は、一種獨特の國民性であるといふことを聞くのであります。武力的背景がなければ支那人と經濟的提携などは出来ない。飽くまで武力的の圧力を背景として親善を図るのでなければ、心から打解けて提携し得る國民ではないと言つて居る人が多いのであります。それも一面の眞理であると考へるのであります。成程日華兩國の親善のためには、武力的背景が必要であるかも知れません。併し武力的背景だけでは駄目である。同時に經濟的提携だとか、平和的親善工作だとかが絶対に必要であるといふことも亦明白であります。兵隊と兵隊と角突合ひをして居つては、いつまで経つても兩國の親善は望み得ない。其の意味に於きまして、所謂文化人や經濟人が大陸に乘出して行つて、眞の日華提携、日華親善の實を収めることが今日の急務であると考へます。従て今回の東洋工業會議は、私共は僅に其の末席を汚したに過ぎませんけれども、日華親善の平和的工作から申しますと、非常に非常に意義のある尊い事業であると考へるのであります。今後も工政會其の他の斡旋に依つて、此の意味の平和工作が益々力強く、頻繁に行はれまことを希望して已まないであります。

私共はそれから北支那の方へ参りました。青島に於ては先輩である加賀山さんが膠濟鐵道に長く滞在されました日華親善に盡力された所でありますが、青島では立派に兩國の經濟的提携の實を擧げて、共存共榮の適例が作られてゐる事を大変愉快に感じました。北支那へ参りますと南支那とは多少事情が異つて居ります。御承知の如く最近北支那の獨立といふやうな問題がありまして、非常に南京政府の神經を刺戟して居ります。私共の参りました時は、黄河の洪水の時でありまして、曹州といふ所では 10 km と 2 km、合計 12 km ばかり破堤をして居りました。黄河といふ河は昔から流路が屢々変り、或時は渤海灣へ這入り、或時は又支那東海へ這入る。近年は湖北省を流れて渤海灣に注いでゐたものが曹州に於て破堤致しまして、大部分水が支那東海に流れてゐる。その結果山東省だけでも 300 萬の罹災民があつた。500 萬といふ數字もありますが、兎に角罹災民が非常に多かつた、其破堤箇所を締切る爲に、480 萬元かゝるさうですが、當時南京政府からは、罹災民救助の爲に 25 萬元、締切工事の爲に 50 萬元送つて來ただけであつた。そこで山東省政府首席の韓復榘は南京政府に對して、嚴重に送金の督

促をして居るといふ時でありました。一体山東省といふ所は地味が肥沃でありまして生産が豊であります爲に南京政府に對して毎年數千萬元の送金をして居るのに、山東省の爲に中央から送つて来る金は1千萬元位に過ぎない。そこで南京政府、つまり國民黨を助けることは、浙江財閥を助けるだけである、眞に支那民衆の利益、幸福にはならないといふことを、北支では盛に申して居りました。それが直接間接に北支の獨立運動といふやうな事になつた譯であります。一般的に申しますと北支に於ては非常に日本に對して信頼するやうな傾向を認め得るのであります。

併しながら支那人は非常に体面を重んずる、所謂面子を重んずる國民であります。是は支那人だけには限りませんと思ひますけれども、特に支那人は面子を重んずる國民ですから、自分の國の主權を侵害される体面を傷けられるといふことであれば、心から日本に信頼することは出来ないと思ひます。従て或る程度までは武力を以て抑へる必要がありますけれども、武力一點張りで行つたならば、到底支那の國民を信頼させることは出来ません。それでは眞の日華親善を實現することは出来ないと思ひます。従てほんとうの日華親善といふことが、東洋の平和の爲に絶対に必要であるといふならば、日華親善の爲には出来るだけの努力をしなければならぬ、外交官が外交の爲に其のベストを盡すと同じやうに、吾々は技術家として、文化人として、其の方面に於て日華親善の爲に最善の努力をしなければならぬ、其の努力をすることが國民としての義務であるといふことを考へます場合に、今回の東洋工業會議は、非常に有意義であつたといふことを信ずるのであります。

たまたま本年の夏に、土木學會に於ては東亞部といふものを設けました。東亞部は東亞各民族の團結、提携に依つて東亞の平和を確保すると同時に東亞各國民の隆盛を図るといふことが原則であります。土木學會はその爲に東亞各國の留学生に便宜を與へ、又之を指導し、後援するといふやうな平和工作に乗出して行かうといふ趣旨であると考へて居りますが、今日の北支の状態から申しまして、土木學會の東亞部の使命といふものは、非常に重大であると考へるのであります。土木學會に於ては今申しましたやうな目的で東亞部を作られた位でありますから、其の精神を推しひろめて、日華親善、東亞民族團結の大使命の爲に御盡力あらんことを切望して已まない次第であります。

甚だ雜駁なお話を申し上げましたが、是で御免を蒙ります。

會員 工学士 加賀山 學*

私は今回の東洋工業會議の代表の一員と致しまして、最後までお供を致したのであります。先程松永工政會常任理事から、此の會議の趣旨、目的其他に就て詳しいお話がありましたし、宮本君からは、支那に對して御觀察になつたことを、非常にはつきりとお述べになりましたので、特に私から申上げるやうな事もないと思ひますけれども、責務と申しては失禮であります。今度の工政會の仕事に對する私の感想を、暫くお聴きを願ひたいと思ふのであります。

今度の工政會の企は、大へん結構な企でありまして、私は曾て4年間支那に在勤致して居ります間に、やはり斯ういふ風に行かなければならぬといふことを体得して居つたのであります。即ち外交の方面から、或は一般の國民外交の方面から、いろいろにやりますけれども、東洋に於ける文化の基礎を同じくした日支兩國民が、此の發展の途上——兩國共發展の途上にあると思ひますが、發展の途上に於て手を握り合つて、或は教へ、或は教へ

* 日本コンクリートポール會社専務取締役

られて行くといふことが、一番必要な事ではないかと常に考へて居つたのでありますが、幸ひ工政會が此の仕事を御計畫になりまして、私にも参加するやうにお勧めがありましたので、私は欣然として其の一行に加へて頂いたのであります。

今年の8月頃から準備が激しく行はれまして、10月22日に東京を出発することが出来たのでありますが、忙しいお仕事に携はつて居られる方が多いために、プログラムが非常に窮屈に出来て居りまして、僅か20日の間に支那と、滿洲と、朝鮮を通つて歸らうといふ愁ぼつた計畫でありました。私は若し之に倍の日子を費すことが出来たならば、より好き結果が得られるのではないかと思つて居つたのでありますが、幸に各地共非常に好い感じの下に、豫期した8割も9割もの收穫を得て歸ることが出来たのは、望外の仕合せであつたと思つて居ります。

一体支那の國民は非常に口の上手な國民でありますから、最初工政會が呼びかけた時には、それは結構だといふやうなことを言つたのだらうと思ひます。吾々のやうに一々頭の中に入れて、一々算盤にかけて考へるよりも、それは結構だといふ風にやつてしまふ國民ですから、昨年來此の仕事が計畫されて居りましたけれども、是はむづかしい仕事であると感じて居つたのであります。幸にして關係者の方々の御努力に依りまして、大へん上手に出来上りましたが、先程松永さんのお話のやうに、既に出発するといふ22日に、むづかしいといふ電報が上海から到着したのでありますが、併し事茲に至つては仕方がないから、壁に向つて獨り演説をしようといふ決心で出發したのでありますが、其の背水の陣のためでありませうか、日本の外交當局は、若し東洋工業會議の一行に不快な感じを與へることがあるならば、日支間の國際問題にも影響するとまで考へられたのでありまして、政治家である上海の吳鉄城市長が、最初の日に吾々の一行を招待する。翌日はこちらで招待する。そして同じ人に出て貰つてお互に講演をし様と云ふ事になつたのであります。

それは松永さんからお話がありましたやうに、日本の聯合通信、電報通信などから、日滿支の會議だといふ通信が行つて居つたからでせう。支那では滿洲といふ言葉に對して神經過敏になつて居りますから、日本はさういふ美名の下に滿洲國を承認させやうとする前提ではないかといふことを疑つたのではないかと思ひます。即ち抗日排日の連中は之を種にして、是は不都合な日本の行爲である。若し之に唆かされて、何かやつたら承知しないぞといふやうな感じを排日系統が持つたのだらうと思ひます。それは學者や技術家のやつたことではなく一部の政治家の策動に因つて、反對の氣勢が濃厚に擧げられたものと思はれるのであります。

それが幸に吳鉄城市長の盡力、外交部次長唐有仁氏の盡力、日本の出先官憲と、支那側の外交官憲との話合ひに依りまして、兎に角も上海の會合が行はれることになつたのであります。上海の會合が出来上つたといふことは非常に意味を成すのでありまして、今度來た者は斯ういふ者であるといふことが、上海の會合で實際に證明されたのであります。即ち上海に上陸した時の團長のメッセージに依つて見ても、翌日の吳鉄城の招待會に於ける挨拶から見ても、又其の翌日の井上團長の招待會に於ける挨拶から見ても、全く此の會合は政治的の意味のない、純なパーティーであるといふことが、はつきり反映されたのであります。其の反映は直ぐに南京に反映して、先程松永さん、宮本さんのお話のやうに、豫想以上の効果を南京に於ても得られたのであります。

私は日本をを出す時に、日支關係が斯ういふ風になつて居りますし、滿洲國の仕事は豫定以上に進んで居る、殊に最近北支の事情も逼迫して居りますので、恐らく支那の旅行の間に、不快な感情を抱かせられる事がありはまいかと思ひまして、非常に案じて参りました。一行の方々にも船の中で、きつと不愉快な事が此の行程の中に起ると思ふけれども、齒を食ひしばつて我慢しなければならぬ。北支の青島から先は大丈夫だけれども、上海、南

京に於ては、厭な氣持になることがありはしまいかといふことを暗示したのでありますが、不快な感じは一つもなかつた。強いて申上げれば、上海に於ける會合のやり方が、多少最初に打合せをした所と違つて、不十分であつたとも言へるのであります。所謂議事規則でも作つて、議長を定めて、此の會議は今年ばかりでなく、來年も、再來年も又永久に續けて、日本と中華民國が工業的、技術的に手を携へてやつて行かうといふことを決議しようとしたのでありますが、それが豫期の通りに行かなかつた。併しさういふ決議は出来なかつたけれども、實質に於ては、それと同じやうな結果が得られたものと確信して居ります。それは來年の 3 月に東京で開くことになつて居る工學會の大會に支那の通中を誘ふことが出来た事であります。上海、南京の會合、其の他支那各地に於ける會合の都度、工學會の主事である松田君から其の事を話されて、十分徹底したやうでありますから、恐らく來年 3 月には、吾々の友達であるか否かを問はず、澤山日本に來朝されることと思つて居りますから、其の機會が、今度の工政會のパーティーの仕事を繋ぐことの出来るエボツクであらうと思ふのであります。工政會常任理事としての松永さんのお考、つまり一遍だけでなく、將來も續けて行きたいといふことは、やはり工政會のお考だと思ひます。私共としてもそれを望んで居るのであります。今回は表向きに議事として取纏め得なかつたけれども、之を第 1 回の試みとして、今後支那各地の工業家なり、大学なり、官憲なりと常に結び合つて、之を何所までも續けて行く、又今回は 24 人參つたのでありますが、それ等の人々がお互に友達を持つて、其の友達同志がつき合つて、長く此の會合を續けて行く、私的にも、公的にも、個人的にも、團體的にも此の會合を續けて行きますことが、兩國の幸福であると信じて居るのであります。多分工政會もさういふ風な態度に出られるだらうと思ひます。

今度は東洋工業會議といふ名前を付けられて、是れだけの仕事をされたのでありますから、此の儘尻切トンボに終りはしないと思ひますが、此の仕事の後始末は相當重要性を持つと思ひます。一回やつた以上は、出来るだけ之を續け、又出来るだけ之を好いものにして行くといふ義務を持たれるものと思ふのであります。又工政會は勿論、土木學會とか、各専門の部門が協調せられまして、此の仕事を繼續して行かれましたならば、必ず好い結果を得られるといふことを信じて疑はないのであります。支那の實狀から申しますと、學問的にも、技術的にも、非常に日本に劣つて居ります。非常に差があります。資源の上に於ては日本よりまさつて居りますが、工業の發達、技術の進歩といふ點から見ますと格段の差があります。中には學者として、或は技術者として、或は工業家として相當な人が居りますけれども、ひつくるめて申しますと段違ひであります。今度吾々が行きました機會に、吾々にすがつて、吾々を友達として行かうといふ眞劔さが現れて居つたのであります。

支那人は外交辭令に富んで居りますけれども、今度は外交辭令でないと思ひます。眞に日本の技術家と友達になつて、日本の技術を取入れて行くことが、民國の將來の發展の上に於て利益であるといふことを、心から感じたことと思ふのであります。從來日本人が外交方面を通じて、或はそれぞれの専門的立場から支那側の専門家に會はれたことは、勿論屢々あつたと思ひます。併し今度のやうに各部門の専門家が、揃つて民國の人に會つたことはなからうと思ひます。いつもならば、向ふからは外交部の人とか、交通部の人とか、鐵道部の人とかが別々に出て來て、日本人をあしらへば宜かつたのでありますが、今度は大学の關係は勿論、役人連中も技術家も一緒になつて心から日本の技術を慕つて、日本は先進國であるから、日本と手を握り合つて行かうといふ氣持が起つたものと認めて差支ないと思つて居ります。又吾々の方では、よく手を取つて引張つてやらなければならぬと思ひます。口で言つて引張ることは容易な事ではありますが、實質的に引張ることは相當むづかしい事あります。それで工政會なり、工學會なり、土木學會なり、其の他の學會なりがセンターとなつて、支那を引張つて行

くといふ形になることが必要であると思ひます。同時に今回の如き仕事を中断する事なしに続けて行きたいものと望んで居るのであります。

最近の支那の實狀は、皆さんよく御承知のことと思ひますが、北支が紛糾して居る最中でありましたから、實は北支あたりで變な事情に際會するのではないかと心配して参りましたが、幸ひ何事もなく切抜けることが出来たのであります。北京では市長が吾々の一行を晝飯に招待をした日に、市長の免官の辭令が出まして、其の翌日の午後 3 時に市長の袁良といふ人は北京を去つてしまひました。私共はそれを知らないで、挨拶も見送りもしなかつたのであります。吾々はさういふ目まぐるしき政治情勢の下に北京を通過したのであります。其の間には上海に於ける日本水兵射殺事件も起つて居ります。銀の國有令も出て居ります。若し吾々の一行が、1 週間か 10 日延びたとすれば、相當不愉快な目に遭ふか、相當困難を感じる事があつて、それほどの成果を得られなかつたか知れませんでした。何事も無くて済んだのは何よりも仕合せであつたと考へて居ります。

北支の事情はあまり好い出来ではなかつたと思ひます。今後どういふ風に展開して行くか、私共にはよくわかりませんが、私共の見る所では、あまり氣持の好い結果ではなかつたのではないかと感ぜられるのであります。併し日本としては局地に對する考も定まつて居るやうでありますし、又民國に對する日本の方針も、極めてはつきりして居るのでありますから、東洋工業會議の方面は少しも妨げられることなく、日本と支那との關係は、將來もよく持続されるだらうと思つて居ります。今回は民國の 5 都市を訪問したに過ぎません。尙ほ揚子江以南の都會もありますし、其の他にも相當の都會があるのでありますから、今後時期を見てプランを變へて、長く支那とつき合ひをすることが必要だらうと思つて居ります。

支那を去つて滿洲國に入りました私共は、まるで自分の國へ入つたやうな氣持が致しました。滿洲國は立派な獨立國として、友邦日本の指導の下に、着々建設を急いで居ります。私は大連には約 2 年半振り、奉天には約 4 年振り、新京には 6 年振りで参りましたが、何れも著しき変化を見せて居ります。新京の如きは國都建設局といふ一局が設けられて、其の局が所謂新京市を造つて居ります。大震災後の東京市の建設のやうに、原の中に大きな都會を造つて居ります。あちらにも、こちらにも土木工事が行はれて居りまして、吾々の眼には、如何にも羨しいやうな、如何にも活氣があるやうに見受けられました。新京には日本人が約 5 萬人居りますが、何れも相當に活動して居られます。

滿洲國が出来ましてから 4 年になりますが、まだ十分に出来たとは申されませんが、今着々建設の途上にあつて、軍民よく一致して、日本の國力が伸びつゝあるといふことだけは、はつきり見得られたのであります。滿鉄も其の後のいろいろの設備が改善されまして、私共はアジヤといふ特急に参りましたが、速力が少し速過ぎるらしいので、展望車に乗つて居りましても、氣持が悪い位でありました。多少線路と汽車の間に食ひつきの悪い點があるのではないかとと思ひますが、兎に角さういふ列車を造つて、大連から哈爾濱まで直通運転が出来るといふことは、日本としても滿洲國としても、非常な進歩であると思ふのであります。

吾々の友人も澤山滿洲國へ行つて活動して居りますが、どの人を見ても、生々として仕事をして居ることは愉快に堪えなかつたのであります。不幸にして奥の方へ行くことは出来ませんでした。各地とも急激な發展を遂げて居ります。殊に奉天の如きは、4 年前とまるで見違へるやうな有様で、電燈は明るく、商店は活氣を帯び、又其所に働いて居られる日本人も、生々として活動して居られるのであります。私は滿洲國から安奉線を経て朝鮮に入りまして、京城に 2 晩泊りましたが、丁度其際朝鮮工業大會といふものが釜山で開かれましたので、行程を延ばして釜山へ立寄りました。私は朝鮮は 6 年振りでありましたが、あまりにも日本によく似通つて來ました

ので、實は驚いたのであります。支那から滿洲に入り、滿洲から朝鮮へ行つたといふ経過の関係もあるかも知れませんが、鴨綠江を渡りますと、まるで面目を改めまして、山の容、緑の色、道を歩く人々を見ても、如何にも内地に歸つたやうな気分が致しました。京城に参りますと一層其の感を深く致しました。殊に京城の市街は、全く日本の都市と違はないやうな感じが致しました。宿屋といひ、食事といひ、商店といひ、朝鮮として特殊に扱ふ必要はないと思はれる位に、うまく同化されて居ります。今年は朝鮮施政 25 年の祝典が擧げられたのでありますし、25 年も経てば相當に同化が行はれるといふことも當然だらうと思ひますが、兎に角朝鮮が如何にも日本らしくなつたことを愉快に感じました。更に今後 5 年、10 年と経ちますと、それと同じ感じが滿洲國に現れて来るだらうと思つて居る次第であります。

今度の旅行には、多少落伍者もありはしないかと思つて心配いたしましたでしたが、幸に 1 人の落伍者もなかつたのであります。年齢を申しますと、71 歳の中松前特許局長が最高齢でありました。九州大学の土木の教授の久野君が 30 代で最年少でありました。宮本君なども若い方ですが、代表の大部分は白髮禿頭、平均年齢 57,8 歳といふことでありますから、實はお風でもめさぬかと思つて心配いたしましたでしたが、殆ど 1 人の落伍者もなく、非常に元氣でお歸りになつたといふことは、東洋工業會議として洵に幸であつたと思つて居ります。

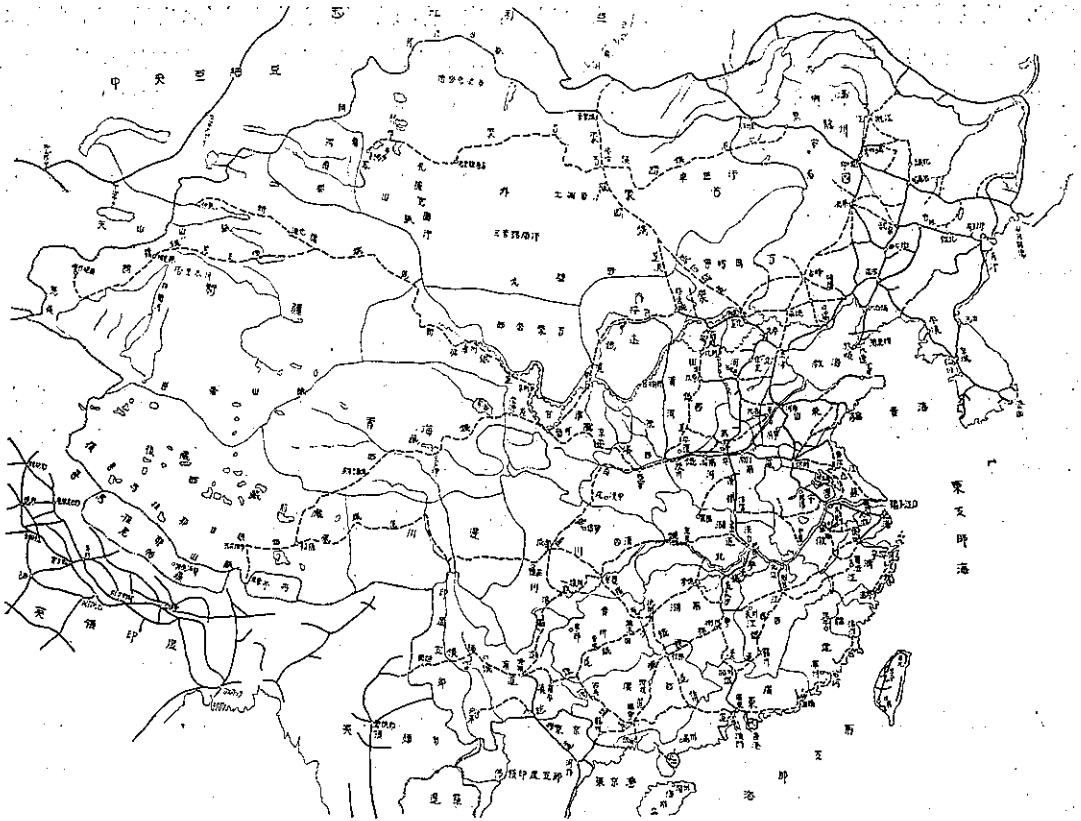
何等の用意もなく、勝手な事を申上げまして恐縮でございますが、是で御勵辨を願ひます。

會員 工学士 山 田 隆 二*

今まで御三方が感想を述べられましたので、今更私が特に感想めいた事を申上げる餘地はないと思ひますから、短い間に視て來ました支那の交通の現状に就て、極く大体の事をお話して見たいと思ふのであります。日支兩國が提携して行かなければならぬといふことは、誰も言ふことでありますし、十分にわかつて居ることではありますから、先刻宮本さんからお話がありましたやうに、眞に日支提携の實を擧げるためには、兩國民が互に理解し認識するといふことが最も必要な事であらうと思ひます。兩國民が互に尊敬し合はなければ、どうしても十分に提携することは出来ない。實例を申しますと——悪い例が知れませんが、此の度の東洋工業會議といふ言葉が誤つて居る、支那に於ては東洋といふことは日本のことを意味して居る、日本で謂ふ所の東洋は、支那では東亞といふのである、従つて東洋工業會議といへば、日本工業會議といふ意味になる、つまり認識不足のためにさういふ間違が起つた、或はさういふ事が悪い結果を來さないとも限らないのでありますから、さういふ點も十分注意しなければならぬと思ひます。吾々が今度支那へ行きました目的の一つである所の、日本の工業を十分認識して貰ふといふことも、さういふ所に原因して居るのではないかと思ひますが、之に對する感想は、他の方が述べられましたから、私は之から支那の交通に就て大体のお話をして見たいと思ふのであります。

第一に鐵道の事であります。支那の鐵道は現在どういふ組織になつて居るかと申しますと、民國 17 年(昭和 3 年)に鐵道部といふものを設けました。鐵道部は 5 院制度の中の行政院に屬する部であります。日本の鐵道省に相當するもので、其の部長が鐵道大臣といふことになります。鐵道部は中央の監督及び各地方の局を總轄して居るのでありますから、日本の鐵道省と同じなのです。内部の組織、職制等は其の名前は違ひますが、業務の分け方などは大体我國の鐵道省と殆ど違はないのです。

* 鐵道技師 鐵道省大臣官房研究所長



其の中で違つて居る點を掲げますと鉄道部内に路警監理局といふものがあります。是は鉄道警察を掌つて居る局であります。支那は御承知のやうに土匪が居りますし、治安の點が十分でありませぬので、警備の兵隊を置いて、各鉄路局で鉄道の警備をやつて居る、其の任務が鉄道部に屬して居るのです。各停車場へ行つて見ますと、さういふ警備の兵隊が右往左往しながら警備して居ります。尙急行列車には必ず警備の兵隊が乗務して居ります。之は各鉄道局で實施して居るのでありますが鉄道部の監理局は之を總轄して居るのであります。此の路警の爲に要する費用金額は年 600 萬元と謂はれて居ります。元は大体日本の円に相當する金高ですから、日本の金にして 600 萬元使つて居る譯であります。

之の警備費を保線費に比して見ますと保線費の方も大体其の位なのです。即ち保線費は 1km 當り 3 人 8 分位になつて居りますが、路警費の方は 1km 當り 2 人 4 分位に相當するさうです。日本の鉄道の保線費は 1km 當り 1 人位になつて居るのでありますから、支那の鉄道は相當金を使つて居るのでありますが、其の割合に成績が擧つて居ないのであります。それは支那人が日本人ほど働かないといふことが原因ではないかと思ひます。

其の外支那の鉄道部には連運處といふものがあります。地方の管理局では各自相互の連絡を図るに付て十分統一が取れて居りませぬから、うまく連絡が円滑を缺く場合を生ずるので、連運處で其の連絡事務に當つて居るのです。どうして十分に連絡が取れないかといふと、各地方の鉄道は其の建設當時に歐米各國の資本が投下されて

居る關係上其内部組織が複雑を極めて居る、それが一つの原因と思はれるのです。各鐵路局に其外國資本の關係上外國人使用数は民國 17 年鐵道部開設當時には、248 人に上つて居つたさうです。それがだんだん整理されて、民國 23 年(昭和 9 年)には 59 人、約 1/5 に減りました、其の中日本人は始め 80 人居たのが現在 12 人になつて居ます。日本の資本が入つて居るのは加賀山さんの居られた膠濟鐵道、それから南の方の南潯鐵道です。南潯鐵道には民國 17 年頃には相當多數日本人も居たさうですが目下は僅か 2,3 名に減じて居ります。其の外の鐵道にも澤山外國人が入つて居たのですが、民國の方針として漸次外國人を整理して、前述の様に最近には非常に少なくなつて居ります。

實際の營業は、日本の鐵道局に相當する管理局がやつて居ります。支那の鐵道は全体で 9000 km であります。日本の國有鐵道の營業幹は 16000 km、單線に直すと 20000 km でありますから、面積は廣いけれども、營業幹は日本の半分位しかないのです。そして現在 14 の管理局(之を鐵路局と稱す)が實際の營業をやつて居りますが、それも全体の鐵道を 14 に分けたといふのではない、投下された外國の資本即ち其建設當初の事情に依つて自然に分れて居るので、1 鐵路局の延長も大小區々でありまして大は 1300 km より小は 140 km になつて居つて、統一が出来て居らないのです。南潯鐵道の如きは最小の方であります。

南潯鐵道は九江から南昌に至る鐵道で、延長 140 km であります。其の外大きい鐵路局は天津から浦口に至る津浦線、北京から漢口に至る平漢線などありますが、是も各一つの管理局になつて居ります。尙ほさういふ鐵道から出て居る小さい枝の線とか、其の外小さい鐵道がありますが、さういふ鐵道も別々の管理局になつて居ります。従て管理局も 1 等局、2 等局、3 等局と分れて居ります。大きな管理局は日本の鐵道局と殆ど同じ様な組織になつて居ります。尙ほ大きな局では管理局長 1 人では足りないといふので副局長を置いて居ります。

設備は日本の鐵道に較べると非常に悪いといふ感じを致しました。客車はアメリカの客車が多いので日本の車よりも 6 吋ばかり大きいもので、勿論拵へた時は宜かつたのでせうが、修繕其の他の金が少いために、手入が行届いて居りませんし、大抵汚くなつて居ります。それに内亂のために、あつちへ持つて行つたり、こつちへ持つて行つたりしますので、餘計にひどくなつて居ります。ただ上海から天津を通つて、北京へ行つて居る津浦線にはきれいな車があり、それはフランス ワゴン リー (Waggon Lits) の車です。フランスの車は日本の車と大體同じ位の大きさで、此の津浦線のワゴン リーは新しい爲か非常に美麗でした。其の他のものは大抵汚い車です。其他設備等につて數字的に一例を申しますと客車數 1810 輛(日本省有 9000 輛)、貨車數 15500 輛(日本省有 65000)速度急行で平均 30~37 km (日本特急 68 km) 等であります。

支那の鐵道が 9000 km といふのは、面積に比例して非常に少い、支那の面積から云へば少くとも 20 萬 km から 30 萬 km 位なければ相當しないのです。孫文が國民政府を創立した時には 30 年間に 10 萬哩といふ計畫を立てたのですが、それは一種の宣傳ではないかと謂はれて居ります。孫文の子の孫科といふ人は、民國 17 年に初代鐵道部長になつた人ですが、其の時には 10 年間に 2 萬哩を造るといふ計畫をしたのですが、その計畫は今日まで一部分しか實現して居りません。さういふ計畫は出来て居るけれども、いつも資金の關係で實現は出来ないのです。

支那の鐵道で面白いと思ひましたのは等級賃金の點です。等級は大抵 1 等、2 等、3 等の 3 階級になつて居りますが、中には 4 等になつて居るものもあります。運賃は日本の鐵道は 2 等が 3 等の 3 倍、1 等が 3 等の 3 倍になつて居りますが、支那では一部(京滬線の如し)に 3 等の 1 倍半を 2 等とし、3 等の 2 倍を 1 等として居る所もあります。然し大部分は日本と同様であります。各管理局に依つて運賃制度が違つて居るので、又日本のやうに

遠距離遞減法に依つて居りません、何處迄行つても同じ率でやつて居ります。其の率も管理局に依つてそれぞれ違つて居ります。最高が 1km 當り 2 錢、最低が 1km 當り 1 錢、平均 1 錢 5 厘位になつて居るらしいのです。(日本省線 1km 1.56 錢で遠距離遞減式)支那國有鐵道の收支は次の通り民國 22 年統計にて収入約 1 億 5 千萬元、支出約 1 億元、營業率 66% であります。

孫科の 2 萬哩といふ計畫が、現在どういふ状態になつて居るかと申しますと、武昌から廣東へ行つて居る粵漢線は、中央が未成區間でありまして目下工事中であります。此の線は速くやらなければならぬといふので、今急いで工事をやつて居ります。當局者は來年中に完成せしめると言つて居ります。

もう一つ上海から杭州を通つて南へ延びて行く○○○○線といふのがあります。是はスタンダードのゲージであります、35 ポンドのレールを使つて輕便式に建設して居ります。今は玉山といふ所まで 360 km ばかり完成して居ります。再來年あたり更に 300 km 南昌まで完成する豫定になつて居るさうです。(浙贛鐵路) 將來は粵漢線に連絡する計畫になつて居ります。

北の方には隴海線といふ横斷線があります。是は現在東海岸から黄河に沿うて、西安まで行つて居りますが、更に進んで蘭州といふ所まで建設する計畫になつて居ります。併し現在では、僅か 20 km ばかり延長工事をやつて残部は資金の関係から停頓して居ります。

建設資金は南部の玉山線は内國債であります、其他は大体各國の團匪賠償金を、其國と協定をして鐵道の方へ廻して居る状態であります。尙同時に各營業線の利益金の一部をも建設工事に廻してやつて居るといふことですが、資金が足りないために十分計畫を進めることが出来ないのださうです。

支那の鐵道は現在どの位の債務を持つて居るかと申しますと、支那のことですから、確實な數字はわかりませんが、昨年統計では、外債が 9 億 7 千萬元、内債が 1 億 3 千萬元、利子が 1 億 2 千萬元といふことあります。總計にして大体 12 億元位ではないかと思はれます。其中日本に對する債務に屬するものが 3 億圓あります。

支那人は北平から萬里の長城を越えて内蒙古の(包頭鎮)に至る鐵道は(平綏鐵路)全然外國人の手に依らないで、支那自身の手によつて建設した鐵道だと言つて威張つて居りますが、此の線は 800 km ばかりで、交通は大してありませんが相當良く出來て居ります。私は一部分見て來ただけであります、相當良く行つて居ります。此の線だけは外國人の手に依らないでやつた鐵道だといふので、萬里の長城の入達嶺といふ所に、其の鐵道を建設した人の銅像が建て、あります。尙ほ鐵道に關する話はいろいろありますが、此の程度に致して置きます。

次は自動車であります。自動車は割合に發達して居りますけれども、それも大都會の附近だけあります。都會を離れた地方はあまり發達して居りません。現在自動車が通行し得る道路は約 63 000 km と稱せられて居りますが、支那の事情に通じた人に聽きますと、63 000 km と稱して居るけれども、其の中には規定に合はしないもの、道幅の狭いものなどがあつて、實際にはそれよりずつと少いのではないかといふことであります。

自動車の數は 3 萬 7 千臺餘で、圓タクとか自家用の車が 2 萬 5 千臺、トラックが 4 千 8 百臺、バスが 8 百臺位で、日本に較べると遙かに少ないのです。バスは杭州から屯溪といふ所まで約 200 km といふやうな長距離のものもありますけれども、都市内或は都市附近に運轉して居るものが大部分の標であります。自動車道路も計畫としては相當あるのでせうが、まだ十分發達して居りません。其の代り支那といふ國は、昔から運河の非常に發達した國で、上海方面から黄河まで運河が続いて居る。其の外至る所に運河があります。それは國が大きいし實際交通上に必要があるからでせうが、一つは地勢の關係があるのです。昔から揚子江や黄河の氾濫のために出

來た水溜りが至る所にありまして、それを繋ぎさへすれば運河が出来るといふ状態になつて居りますので、それも一つの原因だと思ひます。上海の近くの蘇州には有名な寒山寺があります。あの詩の中に“姑蘇城外寒山寺、夜半の鐘聲客船に到る”といふ句がありますが、昔運河によつて交通した客船の事を言つたのだそうです。併し運河では速力が遅いので、今日の世の中では自動車なり、鉄道なり、飛行機なりに依らなければならぬと思はれ支那でも新交通機關の發達に力を入れて居る様です。

次に飛行機の事を簡単に申します。飛行機は軍用としては相當力を注いで居る様です。軍用飛行機は 500 臺と稱せられて居ます。大部分米式です。近來伊太利が大部其勢力を及しつゝあります。軍用航空には年額を 1 千萬元を計上してあるそうです。民間營業航空路も鉄道が少いために相當にやつて居ります。現在中國航空公司、歐亞航空公司といふ大きな會社があります。尙ほ西南航空公司といふものもあります。中國航空公司はアメリカと支那の合辦で資本金 1 千萬元で、民國 19 年に出来たものです。歐亞航空公司はドイツと支那の合辦で、資本金 3 百萬元で、民國 20 年に出来たものです。是等は相當大きなもので、上海を起點として居りますが、揚子江を遡つて漢口まで行くものは毎日行つて居ります。時間は 7 時間です。漢口から成都、重慶に至るものは 1 週間 3 回、時間は、7 時間です。上海から海岸を廻つて厦門、汕頭を通つて廣東へ行くものは 1 週 2 回、時間は 8 時間半です。尙ほ重慶と成都の間もやつて居りますが、是は 1 週 3 回、2 時間になつて居ります。

北京から天津、青島、上海を廻つて居るものは 1 週間 3 回で、16 人乗ダグラスの良飛行機を使つて居ります。スピードも速くて、6 時間位で廻つて居ります。尙重慶から雲南に至るものがあります。是は 1 週 1 回、時間は 5 時間半であります。

其の外上海から蘭州、鄭州、包頭鎮に至るもの、北京から南へ下つて、漢口を通つて廣東へ行くもの、杭州から南へ行つて居るものがあります。歐亞聯絡の飛行機は、ヨーロッパまで聯絡する目的で始めたいのですが、現在はまだ支那國內で停つて居ります。

大体さういふ現状にありますから、交通の點に於ては、まだ發達すべき餘地が非常に多いのでありまして、日本の現状に較べますと、相距ること數百歩といふ状態であります。鉄道の方面を見ても、客車が日本には約 1 萬ありますが、支那は 1 千 8 百であります。貨車は 1 萬 5 千ありますが、日本の 6 萬に較べると非常に少いのです。設備は勿論日本に較べると非常に劣つて居ります。従つて將來改善發達の餘地は非常に多いのであります。

今度の東洋工業會議に就ては、先程來いろいろお話がりましたが、確に相當の効果があつたと思ひます。天津の會議、北京の會議は何れも大学でやりましたが、各大学の教授達は、日本の實狀を知らうとして熱心にいろいろの質問を發しました。其の間少しも不愉快な點はありませんでした。今度の會議は確に効果があると思ひます。ただ遺憾なことは、歐米の留学生が多いといふことであります。北京大学の如きは相當多くの教授が居りますが、歐米の留学生が 8 割、日本の留学生が 2 割位であります。天津はそれ程ではありませんが、大体に於て歐米の留学生が多いのであります。之は總數から言へば日本留学生が多いのであります。例の排日、抗日、其他の事情で有識階級、幹部階級には歐米流が多く頭を出して居る爲だと思はれます。従て日本留学生は數に於て少いためにいくらか遠慮して居る所があるやうに思はれます。従つて將來十分日本を認識せしめるためには、日本留学生の進出をより多くするといふことが非常に必要であると思ひます。以上大体のお話を申上げた次第であります。

吉田永助*

私は商工省の工務局に居りまして主として、工業品規格統一調査會の事務を囑託されて居る者であります。今回は商工省から東洋工業會議に出張致しまして支那の度量衡の標準規格統一の事を少し調べて参りましたので、時間のお邪魔をして恐縮でございますが、簡単に述べさせていただきますと思ひます。

支那がメートル法に統一しようとしたのは餘程以前のことでありまして、全國度量衡統一局といふものを設けて統一を図つたのであります。清國時代の光緒 39 年に、支那の物産や何かの寸法が不統一でいけないといふので、之を統一しようといふ計畫がありました。が、革命や何かのために其の儘になつて居りました。ところが民國 2 年に工商部の工商會議といふ所で、萬國の度量衡の公制を採用するといふ大體の方針を決定しまして、國務會議といふ學會みたいな機關を通過しました。其の後民國 4 年にそれを甲乙の二つに分けて、二つの制度を併用することになりまして、只今實業部の中に全國度量衡局といふものがあつて、之を取扱つて居るのであります。

甲の方は、公尺、公升、公斤、といふものがスタンダードになつて居ります。公尺の單位は 1 メートル、公升は 1 リットル、公斤は 1 キログラムといふことになつて居ります。其の外に私尺、私升、私斤、といふものがあります。1 私尺は 1/3 メートル、1 私升は公升と同じく 1 リットル、1 私斤が 1/3 キログラムといふことに一定したのであります。

全國度量衡局長は吳と云ふ人ですが、折悪しく病氣をして居りまして會ふことが出来ませんでした。さういふ風に統一はしたけれども、なかなか實行が出来ないので、民國 19 年の 11 月に、全國度量衡會議といふものを開いて、其の實施促進に努める。さうして 6 年計畫で之を實施するといふことを決定して、今着々やつて居るといふ話を聴きました。それには或る猶豫期間を置いて、公定した以外の度量衡は出来るだけ禁止するやうに努力して居るといふことであります。その猶豫期間は、地方に依つて違ふらしいのです。さういふ風にメートル法を實施することに決定して、着々其の實施に努めて居るけれども、なかなか普及されないといふことであります。

鐵道の關係などは、公尺、公升、公斤、に依つて居ります。建築の方面にも使用されて居るさうです。

規格統一の方も、やはり其の必要を認めまして、南京の實業部の中に標準委員會と云ふものがありまして、其所で 50 人ばかりの委員が居つて、その仕事に關係して居る。尚ほ其の外に 2,300 人の人が關係して居るさうですが、まだ決定したものはないといふことであります。その調査會の會長は、實業部の中の工業司長を兼任して居る龍龜弗といふ人がやつて居るのですが、私は其の人に會つていろいろの話を聴きました。尚ほ其の幹事格の人で、中央工業試験場長をして居る顧毓琨といふ博士にも會ひました。此の人はアメリカのコルネル大学の出身の人です。又名古屋の高工を餘程前に出た李といふ實業部の或る課長に會ひました。此の人は機械系の幹事をして居るといふことであります。今は紡織機の試験法とか、金屬材料の試験法とか、紙の寸法などに就て調べて居るといふことであります。

さういふ場合に規格統一の方にも着手して居りまして、私等が日本の状態を話しましたところが、是非資料を貰ひたい、さうしてお互に連絡を取つて、標準規格の制度に努めたいと申して居りましたから、日本へ歸りましたから資料を送つてやりました。

さういふ風に支那でも規格統一の必要は認めて居るのです。殊に繊維工業、土木工業、建築等の方面に於て其

* 商工省工務局囑託

の必要を認めて居るやうであります。さういふ點も御承知下さつて、今後何か機會がありましたならば、土木の方のいろいろの標準を示されて、日本と共通の規格が出来るやうに御盡力になることが必要ではないか、日支親善のためにも必要な事ではないかと思ひますので、御参考のために申上げた次第であります。

青山會長挨拶 本夕はお忙しい所をお出で下さいまして、有益なるお話を願ひまして、有難うございました。

度量衡の統一、工業品の規格統一といふことは、工業の發展の上に極めて必要なことでありまして、我國に於きましても着々と其の方面に進んで居る譯であります。殊に我が友邦たる滿洲國、中華民國、或は東亞の諸國が共に進んで参りますれば、我が國の總ての工業品を輸出する上に於きましても、先方の註文を受ける上に於きましても、非常に便利なことゝ信ずる次第であります。只今は中華民國に於てもメートル法を使つて居るといふことを伺ひましたし、又最近内務省からシヤムへ参りましたエンジニアの方から、シヤムに於てもメートル法を使ふことになつて居るといふことを承りましたので、我國に於ても曩に其實施を定められたるメートル法を普及せしめ、工業品の規格を統一して、益々我國の工業及び貿易を發展せしむる必要があると存ずる次第であります。茲に一同を代表致しまして、御禮を申し上げます。

青山會長挨拶

本夕は東洋工業會議の代表者として参られた松永君、宮本君、加賀山君、山田君のお話を承る會を開きました處、お忙しい中を御快諾になり、皆さん御出席下さいまして、それぞれ有益なるお話を承ることが出来まして、土木學會員一同に代りまして、厚く御禮を申し上げます。東洋工業會議に出席された4人の方は、同時に土木學會を代表して行つて頂いたのでありますが、東洋工業會議が發起者の方々、又各代表の方々の御努力に依つて、無事に而も成功裡に終りましたことは、御同慶の至と存ずる次第であります。その結果として吾々も4人の方々から、中華民國に就て、又其の國民に就て、吾々が今まで持つて居つたよりも、より多くの認識を得た次第でありまして、厚く御禮を申し上げます。土木學會に於きましても、先般東亞部といふものを新設致しまして、東洋工業會議と略其の目的を同じうして東亞の國々の學術技術の聯盟を作つて、互に援助して、東亞の國々の親善を図るといふ目的で進んで居る譯でありますから、どうぞ會員の方も大いに御援助下さいまして、東亞の民族のために盡力されんことを希望致します。

茲に東洋工業會議に御出になつて慌しき旅を続けられ歸朝勿々御渡の中にも關らず本會の爲めに其御土産話をなすつて下さつたことを厚く御禮を申し上げると共に會員各位に對し希望を述べて本會を閉ずることゝ致します。